

第5章

地域別構想 “都心部編”

福岡市の都心部は、業務・商業・教育・文化・行政機能が集積しており、市民に対して豊かな都市生活を身近に享受できる中心地区となっています。さらには、陸・海・空の広域交通拠点が近接し、都市圏全体に占める従業員や小売り額の割合が約3割となっており、住む人、働く人、訪れる人にとって大事な場所となっています。また、第3次産業が9割を占める福岡市では、多くの人に来ていただき、集いにぎわうことが、活力・創造の源と考えています。

現在、都心部には更新期を迎えたビルが多く民間開発の意欲も旺盛なため、今後大きく姿を変えていくと考えられます。このような動きを都心部と福岡市全体の活力の維持向上に結び付けるとともに、高質なビジネス環境や広域から人を集める魅力づくりを推進し、都心部の国際競争力を高めるため地域別構想“都心部編”を策定します。

“都心部編”では、都心部を取り巻く環境の変化や都心部の抱える課題などを踏まえた「まちづくりの方向性」、具体のまちづくりの方向を示す「めざすべき都市構造」、及び都心部の「部門別の基本的な方針」で構成しています。

1 地域別構想“都心部編”の必要性と対象エリア

■都心部編の必要性

- 都心部は、福岡市基本構想において「住みたい・行きたい・働きたい。アジアの交流拠点都市・福岡」を都市像として掲げている福岡市の成長エンジンであり、福岡市全体の魅力を高めています。また、都心部には陸・海・空の広域交通拠点が集中・近接し、世界・アジア・九州の玄関口となっており、交流面で大きな役割を果たしているとともに、従業員や小売額が都市圏全体の約3割を占めるなど、住む人、働く人、訪れる人にとって重要な地域であり、引き続き都心部の活力の維持・向上と魅力づくりに取り組むことが重要です。
- 都心部は、業務や商業、行政・福祉サービス施設、文化・娯楽施設などが集積し、市民や都市圏住民が日常的に高度な機能を利用できる中心地区として貢献しています。市民全員の財産として都心部の機能を高めていく必要があります。
- 都心部では民間開発の意欲が高いため、民間活力を引き出しながらまちづくりを進めることが重要です。また、エリアマネジメント団体や民間事業者などと連携した共働きのまちづくりも積極的に進める必要があります。“都心部編”は、このような民間のまちづくりを進める際の明確で戦略的な指針として活用するものです。また、“都心部編”は関連計画との整合を図りながら、都市活動の円滑化に必要なインフラの整備を進めていくための行政のまちづくりの指針としての役割も受け持ちます。
- 都心部が福岡市の位置的・機能的中心として、今後も福岡市の活力を牽引する原動力の役割を果たせるよう、“都心部編”は、「第9次福岡市基本計画」などの上位計画を踏まえつつ、「福岡市都市計画マスタープラン」の「全体構想」や「区別構想」との整合を図りながら、まちづくりを進めるうえでの指針となるものです。

■対象エリア

- “都心部編”における都心部は、「第9次福岡市基本計画」の「都市空間構想図」に示された都心部を概ねのエリアとします。
- 具体的には、天神、博多駅、博多ふ頭・中央ふ頭を中心として、東は御笠川、南は百年橋通り、西は大正通りに囲まれたエリアとします。



2 都心部のまちづくりの方向性

① アジアの活力を福岡に取り込み、九州、西日本の各都市へ波及させます

- 国境を越えた「福岡・釜山超広域経済圏」の形成など、東アジアの潜在成長力を生かし、国際競争力の向上と地域活性化を図るため、アジアビジネスや九州・西日本の中枢機能の集積をはじめ、創造的な人材や企業の集積、スタートアップ環境の充実を図ります。
- 陸・海・空の広域交通の利便性の向上を図るとともに、広域交通相互の乗り継ぎがしやすい都心部づくりを進めます。
- 都市圏各地などの近距離から訪れる際に、公共交通を利用しやすい都心部づくりを進めます。

② 美しくにぎわいがあり利便性が高い国際集客文化都市をめざします

- コンベンションなどのMICE、歴史巡り、ショッピング、祭り、食、文化、エンターテインメントなど、にぎわいとおもてなしの心が溢れる観光集客都市の核の形成を図ります。
- まちの更新の機会を捉えて、通りを軸にした緑化や街並みなどの景観形成と回遊ルートを重ね合わせた美しい都心部づくりをめざします。

③ 都心部の各地区が連携し相乗効果を生み出すまちづくりを進めます

- 魅力や集客力を生かして、天神、博多駅、博多ふ頭・中央ふ頭を中心に、都心部の各地区が連携し、相乗効果を生み出し、都心部全体の魅力と活力の向上を図ります。
- 都心部内の核や拠点を結ぶ公共交通の利便性の向上や、歩行者の快適な回遊動線を整備します。

④ すべての人に優しいユニバーサルデザインのまちづくりを進めます

- 建築物、交通機関、道路など多くの人々が利用する施設のバリアフリー化を推進します。
- 公共施設の使いやすさ、都市サイン・案内板の分かりやすさなどについて、ユニバーサルデザインの観点からまちづくりを進めます。

⑤ エリアマネジメント団体や民間事業者などとの共働のまちづくりを進めます

- 建築物の建替えや、道路、公園などの公共基盤の整備・更新の機会を捉え、国の支援制度や「福岡市都心部機能更新誘導方策」などを活用しながら、民間事業者やエリアマネジメント団体をはじめ、産学官民が一体となった共働のまちづくりに取り組みます。
- また、集客機能の向上や、来街者を温かく迎えることができるよう、市民・企業・エリアマネジメント団体などとの共働の取組みを進めます。

⑥ 環境負荷が少なく地球環境に配慮したまちづくりを進めます

- 緑の創出を図るとともに、川や海を生かしながら、様々な技術を取り入れた環境負荷の少ない都心部づくりをめざします。
- 歩いて楽しいまちづくりや、公共交通を利用しやすいまちづくりを進めるとともに、建築物の省エネルギー化、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの導入を誘導し、低炭素型の都心部づくりを進めます。

⑦ 大規模災害の発生に備え、災害に強いまちづくりを進めます

- 東日本大震災や福岡県西方沖地震などを教訓とし、建築物などの耐震化、不燃化を図るとともに、道路空間などによる延焼遮断機能の確保など、災害に強いまちづくりをめざします。
- 事業者と連携しながら、大規模災害に備えた帰宅困難者対策の推進など、災害に強いまちづくりを進めます。

3 めざすべき都市構造

① 都心部の中核部である天神・渡辺通、博多駅周辺の機能強化

- 九州最大の商業・業務機能が集積する天神・渡辺通と博多駅周辺は、公共交通のターミナルを中心とした都心部の中核部として、集客力の高い機能を配置し、都心部の機能強化を図ります。
- 個性や界隈性が魅力の天神周辺部や博多駅周辺部は、中核部の機能を補完し、連携することにより相乗効果を高めます。

② 海に開かれたアジアへの玄関口となる博多ふ頭・中央ふ頭の機能強化

- 博多ふ頭・中央ふ頭において、外国からの入国者数が日本一の港にふさわしいゲートウェイ機能の充実・強化とおもてなしの景観づくりを図るとともに、コンベンションなどのMICE機能を強化し、多くの人が集い交流する海に開かれたアジアへの玄関口づくりを進めます。
- クルーズの振興を図ることにより、博多港をクルーズ客船が発着する拠点港として機能させ、来訪者の増加や港の活性化を推進します。

③ 都心主軸を骨格とし、各地区が一体となった都心部の機能強化

- 天神・渡辺通、博多駅周辺、博多ふ頭・中央ふ頭を結び、高度な都市機能が沿道に集積する都心主軸を骨格とし、公共交通軸の強化により地区間相互の連携を高めるとともに、陸・海・空の広域交通拠点との近接性を生かしながら、3地区を一体として都心部の機能強化を進めます。

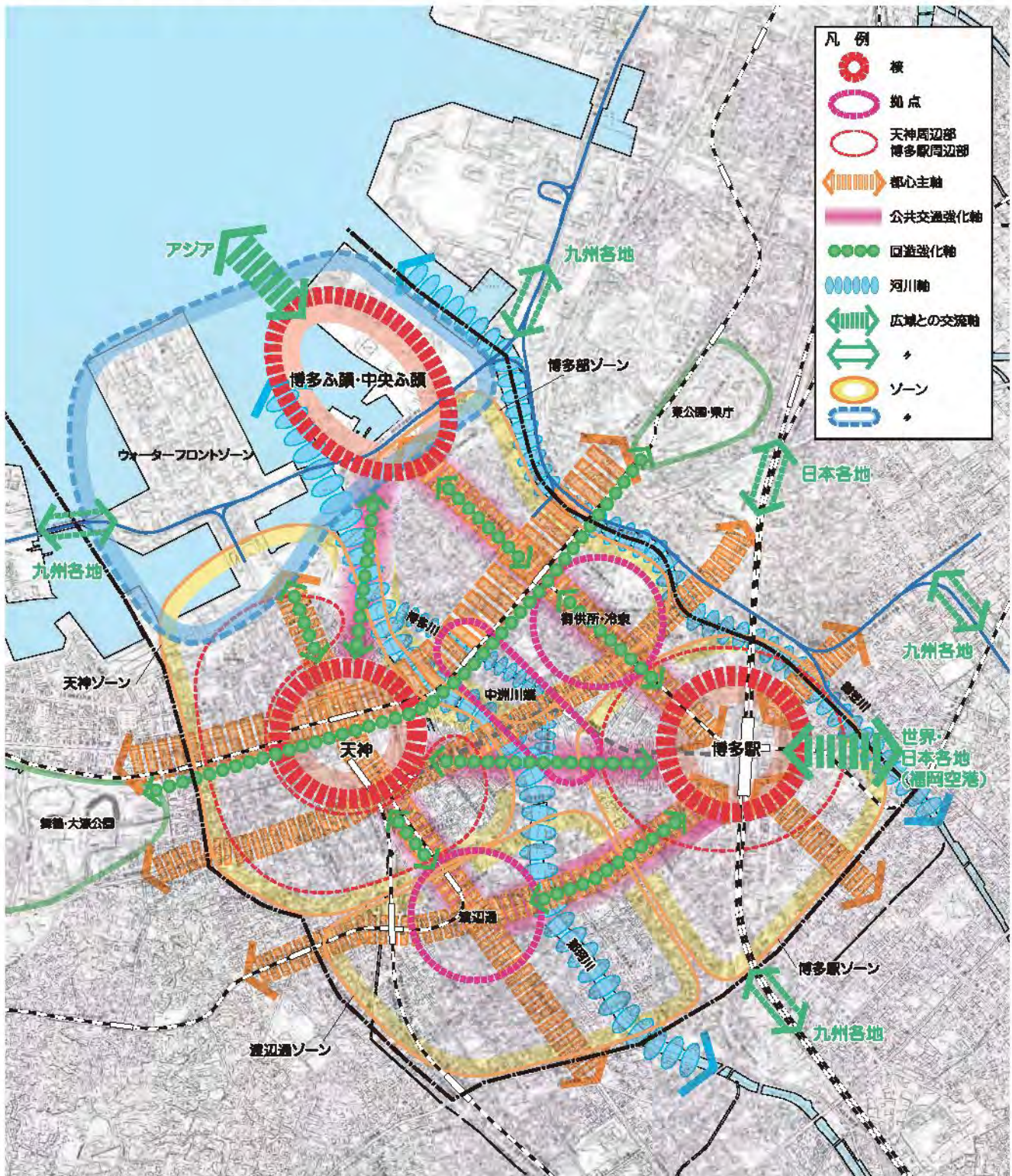
④ 核や拠点を結ぶ都心部回遊軸の強化

- 歩行空間の高質化や沿道への商業施設などの誘導、魅力ある景観形成などにより歩行者の回遊性向上を図り、美しい街並みや緑を楽しみながら、一年を通して多くの人が訪れにぎわう都心部づくりを進めます。

⑤ 個性を生かした拠点の機能強化と、住み続けられる都心部づくり

- 博多の歴史を伝える御供所・冷泉、文化・商業に加え多彩な飲食・娯楽が魅力の中洲川端、業務機能が集積し、交通の結節点でもある渡辺通など、それぞれの地区の個性を生かしたまちづくりを進めます。
- 子どもの教育環境の向上や、ファミリー世帯の都心居住の誘導・支援などを行い、住み続けられる都心部づくりを進めます。

■ 都心部の将来の都市構造



めざすべき都市構造を実現するために、
次の4つの部門別の基本的な方針を定めます

1 都市計画マスタープランの位置づけと役割
2 都市の現状と目指すべき都市構造
3 全体構想
4 区域別構想
5 地域別構想・都心部編

4 部門別の基本的な方針

④-1 土地利用の基本的な方針

九州・アジアを視野に入れた商業・業務、交流、文化機能などを、核や拠点を中心に適切な用途容積で配置し集客力や利便性を高めるとともに、個性や界隈性を楽しめる周辺地区の形成を図りつつ、居住機能をバランス良く配置し、国際競争力のある都心部づくりを進めるため「土地利用の基本的な方針」を定めます。

①九州・アジアを視野に入れた商業・業務機能の集積

○アジアと連携する国際的なビジネス機能の集積や、アジアからの来街者に対応できる商業機能の集積など、九州・アジアの交流拠点都市にふさわしい土地の高度利用と都市機能の集積を図ります。

取組みの例示 ●特定都市再生緊急整備地域制度の活用 ●総合特区制度の活用 など

②九州・アジアのゲートウェイ機能の向上

○九州新幹線の全線開業やクルーズ客船などの寄港、充実した航空ネットワークに対応して、快適で利便性の高い九州・西日本やアジアへのゲートウェイ機能の向上を図ります。

取組みの例示 ●空港機能の強化 ●中央ふ頭の機能強化 など

③コンベンション、文化、アミューズメント機能の多岐にわたる集積・創出

○コンベンションなどのMICE、文化、アミューズメント機能など都心部の魅力を高める機能の集積・創出を図り、広域的な集客・交流機能を強化します。

取組みの例示 ●コンベンションなどのMICE機能強化の検討 ●拠点文化施設整備の検討 など

④核・拠点づくりと周辺地区の連携

○都心部の魅力に更なる磨きをかける核・拠点づくりをめざすとともに、核・拠点の機能を補完する周辺地区と連携することにより相乗効果を高めます。また、幹線道路沿いの立地を生かして、沿道建物の高度利用を誘導し、「九州・アジア」「環境」「魅力」「安全安心」「共働」の視点から都心部の機能強化と魅力づくりを進めます。



▲明治通り



▲はかた駅前通り



▲博多ふ頭・中央ふ頭

天神および
天神周辺部

○九州における屈指の商業集積地である天神では、建物更新期などを捉え、地上・地下の歩行者ネットワークの充実・強化を図りながら、商業・業務機能などの高度化を進め、国際的な魅力を高めます。また、公開空地の活用などによる更なるにぎわいの創出、出会いと交流を促す創造的な場づくりなどにより、国内外からの来街者や幅広い年齢層の人が都市的な楽しみやサービスを満喫できるまちづくりを進めます。

博多駅および
博多駅周辺部

○広域交通の拠点である博多駅の利便性を生かし、国際的な広域業務の中心として、業務とともに商業機能の高度化を進め、さらに、行政、居住などの都市機能の充実を図ります。また、博多駅の交流広場や、歴史・文化などの魅力を生かして回遊性や集客力の向上を図るとともに、公共交通の乗り継ぎやすさや案内サービスの向上などにより、国内外からの来街者や幅広い年齢層の人にやさしいまちづくりを進めます。

博多ふ頭・
中央ふ頭

○アジアや九州との一層の交流拡大を視野に入れ、港湾機能との調和を図りながら、都心部の貴重な海辺空間を生かしたにぎわいの創出など、市民や国内外からの来街者が集い交流する海に開かれたまちづくりを進めます。また、コンベンションなどのMICEや国際・国内旅客ターミナル機能を充実し、海のゲートウェイ機能を強化するとともに、交通拠点機能の充実を図ります。

渡辺通

○居住地区との調和を図りながら、地下鉄七隈線の利便性を生かした新たなビジネス機能などの集積を図ります。また、狭あいな道路基盤により防災性の問題を有する地区については防災性の向上を図ります。

御供所・冷泉

○都心居住の推進に加えて、歴史・伝統を生かした観光・交流の推進、商業の振興、街並み景観の向上を図ります。

中洲川端

○文化機能と飲食街の集積を生かしたゆとりとにぎわいのまちづくりを進めます。

取組みの例示

- 都心部機能更新誘導方策を用いた民間開発事業の適正誘導
- 都心のエリアマネジメントの推進 など



▲渡辺通



▲博多町屋ふるさと館



▲博多座

④-2 交通体系づくりの基本的な方針

都心部は、暮らしやすくあるとともに、ビジネスや商業活動が活発に行われる場として、にぎわいや活気に加え、集客力の向上が望まれます。そのためには、九州・アジアからの玄関口としての機能強化を図るとともに、都市圏、市内からのアクセスの強化と都心部内移動の快適性向上を図る必要があり、公共交通を中心とした都心部の交通体系を構築するため「交通体系づくりの基本的な方針」を定めます。

①九州・アジアの主要都市とのネットワーク強化

- 来訪者を迎えるのにふさわしい陸・海・空の広域交通拠点づくりを推進するとともに、広域交通拠点間のアクセス性の向上を図ります。

取組みの例示 ●空港機能の強化 ●中央ふ頭の機能強化 など



▲福岡空港国際線ターミナル

②公共交通を中心とした都心部へのアクセス性向上

- 公共交通を利用して誰もがスムーズに都心部にアクセスできるよう公共交通ネットワークの強化や、利便性の向上を図ります。

取組みの例示 ●総合交通体系の検討 ●地下鉄七隈線延伸事業の推進 など

③公共交通を中心とした都心部内移動の快適性向上

- ユニバーサルデザインの理念に基づき、公共交通のバリアフリー化の推進や分かりやすい交通環境の形成に取り組みます。

取組みの例示 ●天神・渡辺通、博多駅周辺、博多ふ頭・中央ふ頭地区間相互の交通アクセスの強化の検討 など

④幹線道路整備による道路交通の円滑化

- 都心部への通過交通の分散や都心部内の道路交通容量を高める幹線道路の整備を進め、道路交通の円滑化を図ります。

取組みの例示 ●都心部における新たな幹線道路の検討 ●都市計画道路の整備 など

⑤自転車利用環境の向上

- 平坦な地形やコンパクトな市街地である特徴を生かして、回遊の中心である歩行者の安全性、快適性を優先しながら、歩行者と自転車が共存できる自転車利用環境の向上を推進します。

取組みの例示 ●自転車通行空間の確保 ●自転車の交通ルール遵守、マナー向上の取組みの推進 など

⑥共働による交通マネジメントの推進

- 公共交通の利用促進や自動車交通量の削減、既存施設の有効活用などの交通マネジメントについて市民・企業、エリアマネジメント団体、交通事業者、行政などが共働して推進します。

取組みの例示 ●都心部における交通マネジメント施策の推進 など



▲自転車通行空間

④-3 回遊・景観・みどりづくりの基本的な方針

核・拠点やその周辺について、公共交通や自転車を快適に利用でき、歩行者が安心して楽しく回遊できる、質の高い都心部の回遊ネットワークを創出し、美しい街並みやみどり、歴史資源などを楽しみながら、年間を通して多くの人が訪れる、魅力やにぎわいのある都心部づくりを進めるため「回遊・景観・みどりづくりの基本的な方針」を定めます。

① 魅力ある景観が連続する回遊空間の創出と、おもてなしの顔づくり

○都心部の各地区を結ぶ回遊空間において、地区ごとの特性に応じ、水辺や歴史などの既存資源を生かしながら、来街者が安心して楽しく回遊できるよう、花やみどり、沿道建築物の魅力的な景観、憩いとにぎわいがつながる、快適で質の高い歩行空間の創出に取り組みます。

取組みの例示

- 都市景観形成地区の指定による沿道建築物の景観誘導
- 快適で高質な都心回遊空間の創出事業 など

② 回遊の拠点の立体的な歩行者ネットワークの充実・強化

○都心部の集客・回遊の拠点である天神と博多駅において、地上をはじめ、上空通路や地下通路も含めた、利用者にとって快適でにぎわいのある立体的な歩行者ネットワークの充実・強化を図ります。

取組みの例示

- 都心部機能更新誘導方策を用いた民間開発事業の適正誘導など



▲天神地下街

③ 歴史・文化などの地区の個性や界隈性を生かしたまちづくり

○御供所や冷泉での歴史を楽しめるまち歩きや、中洲川端の商業・文化機能を巡るまち歩きなど、地区の特性を生かした回遊の拠点づくりを進めます。

取組みの例示

- 都市景観形成地区の指定や寺社等への修景助成による地区の個性を生かした景観づくり など



▲博多千年門

④ 公園や水辺、オープンスペースなどの空間を活用した、地区特性に応じたにぎわいや憩いの場づくり

○それぞれの地区の特性に応じた個性的で緑豊かな空間の創出や、河川の水辺空間を楽しみながら回遊できる空間づくりなど、都心部の回遊にアクセントを与えます。

○民地内に創出されたオープンスペースなどを活用して官民共働による四季折々のイベントの実施や、季節や時間に伴い変化する魅力を創出するなど、集客力を高めて、都心部のにぎわいづくりを進めます。

取組みの例示

- 公園再整備の推進
- 都心部のエリアマネジメントの推進 など

⑤ 誰にでも安心してわかりやすい回遊空間の創出

○すべての歩行者が快適に安心して回遊できるよう、ルートの特성에合わせて歩行者と自転車の共存や分離に取り組みます。

○初めての人でも安心してまち歩きが楽しめるような環境づくりを進めます。

取組みの例示

- 自転車通行空間整備の推進
- 都市サインの整備 など

④-4 環境・安全安心づくりの基本的な方針

あらゆる企業・団体・市民・関連する組織と行政が一体となって、持続的で環境に優しく、安全安心な都心部づくりを進めるため「環境・安全安心づくりの基本的な方針」を定めます。

① 多様な都市活動を支えるエネルギーの高効率化の推進

○多様な都市機能が高度に集積している都心部において、経済・都市活動の質を高めつつ、省エネルギー化やエネルギーの効率的な利用を誘導します。

取組みの例示

●事業所省エネ技術導入サポート事業 ●福岡市建築物環境配慮制度(CASBEE福岡) など

② 快適な都心部環境づくりの推進

- みどりの量的・質的な充実を図り、潤いと安らぎを創出するとともに、二酸化炭素吸収源の確保を図ります。
- 博多湾から続く河川空間や道路空間による「風のみち」や点在する緑地空間を含めた水と緑のネットワークを活かした、快適な環境づくりを推進します。



▲天神中央公園

取組みの例示

●緑化推進事業 ●公園再整備の推進 など

③ 環境にやさしい交通体系の構築

- 主要な拠点での公共交通による相互ネットワークの強化を図ります。
- 公共交通の利用を促進し、都心部への自動車流入を抑制するとともに、都心部内での自動車交通の円滑化を図り、利便性の向上と低炭素化を進めます。
- 低炭素型の交通手段への転換を進め、交通の集中する都心部での二酸化炭素の排出量削減を図ります。



▲地下鉄七隈線

取組みの例示

●総合交通体系の検討 ●地下鉄七隈線延伸事業の推進 など

④ 耐震性の向上や浸水対策など災害対策の強化

- 福岡県西方沖地震や博多駅・天神周辺の浸水被害の教訓を生かして、居住者、来街者を大規模災害から守るまちづくりの取組みを進めます。
- 経済活動や行政機能の中心である都心部の機能を大規模災害から守るとともに、被害を最小限に抑える安全で安心な都心部を形成を図ります。
- 事業者と連携しながら、大規模災害に備えた帰宅困難者対策を推進します。



▲浸水対策(春吉3号幹線)

取組みの例示

●雨水整備レインボープラン天神の推進 ●避難支援対策の充実・強化 など